



はくざんコミュニティ・スクールだより



平成29年5月12日発行 第1号

ごあいさつ 「子育ては心を育てること」

学校運営協議会会長 山崎 可壽子

花の季節も過ぎ、若葉が美しい季節となりました。子どもたちも新しいお友だち、先生、生活環境に慣れてきたことと思います。

白山小コミュニティ・スクールが、地域の皆様や家庭のご理解とご協力により、年を重ねる毎に実り多い活動となっていることに感謝致しております。昨今、便利なことが更に増え、物の豊かさを強く感じる場面が多くなりましたが、私たち大人が子どもたちにできることは、心豊かな人としての成長を支援することだと考えております。

心の豊かさを育む時期は、子どもにとって早すぎる事はありません。胎児の時から母親が穏やかな心と心和む風景、美しい音楽、絵画、物語等に接することも大切でしょう。幼い時の豊かな見聞は、年を経ても熟成され思い出されることが多く、豊かな人生を送る糧となるといわれています。

本年度も地域の皆様と家庭、学校が協力し、未来の郷土を担う豊かな人づくりにご協力くださいますようお願い申し上げます。



第1回コミュニティ三部会

4月14日に第1回コミュニティ三部会が開かれました。各部会の部長を決定後、昨年度の反省を踏まえて、今年度の活動計画について協議しました。

「わくわく学習部会」では、夏休みに実施するわくわく講座で、子どもが主体的に活動できる講座を増やす予定です。「にこにこ生活部会」では、6月13日（火）実施予定の校区ふれあい遠足で、広く地域サポーターや保護者に呼びかけて、清掃活動やレクリエーションを行い、交流を深めます。「すくすく健康部会」では、お米を作ろう大作戦や防災キャンプなどで、食の大切さを知り、防災の意識を高める取り組みを計画しています。

第1回学校運営協議会

4月25日に第1回学校運営協議会が開かれました。町教育委員会から市川教育長、蓮池主任指導主事が出席しました。委員のみなさんに、教育長より2年間の委員委嘱状が渡されました。続いて、校長より今年度の教育目標及び学校経営方針についての説明があり、承認されました。

次に、今年度の各部会の活動の方向性や具体的な取組について協議が行われました。社会福祉協議会より、地域とのふれあい活動の補助が認定され、校区ふれあい遠足、草花の栽培や福祉などの交流活動を充実させる予定です。また、主体的な子どもを育てるには、まずは体験からということで、子どもたちが町の歴史や文化財を知り、様々な方面から地域の人や物から学ぶ場をつくることを確認しました。

平成29年度 学校運営協議会委員を紹介します。

会長	山崎 可壽子	委員	安西 進
副会長	鴨井 俊徳	委員	西丸 和代
副会長	佐竹 一夫	委員	中野 貴章
委員	柳澤 良明	委員	白井 敏雄
委員	阿野 秋子	委員	眞鍋 勇雄
委員	武田 珠恵	委員	渡邊 圭子



新しく、渡邊委員が町教育委員会より委嘱されました。よろしくお願ひします。

